

(20) 竹とんぼ・木とんぼ・色鉛筆

1 活動の目的、効果

(1) 体験活動上の効果


◎自主性・創意工夫 ○課題克服・達成感

(2) ESDの課題解決に必要な7つの能力・態度

⑥ つながりを尊重する態度

人・もの・こと・社会・自然など自分とのつながり・かかわりに関心を持ち、それらを尊重し大切にしようとする態度

2 活動の詳細



概要 (セールスポイント)	自分で作った竹とんぼが空を舞う姿は感動的です。羽はうすいほうがよく飛ぶのである程度の技術も必要になってきますが、昔ながらの遊びを交流の家で体験してみませんか。						
諸条件	実施形態	自主活動	提出書類	食事・教材注文票 (材料の注文)			
	必要経費	特定研修活動実施経費(1人50円) +材料費 A. 竹とんぼ(1人170円) B. 竹とんぼ・色鉛筆(1人260円) C. 竹とんぼ・木とんぼ(1人260円)	事前の下見	不要	活動場所	研修室	
			所要時間	1.5~2時間 (セット内容により異なる)			
			対象・人数	小学校中学年以上 最大80人			
時期	通年	天候	全天候				
準備するもの	青少年交流の家で貸し出し可能な物		団体に準備する物				
	・クラフト用ナイフ ・新聞紙		【参加者】	・筆記用具 等			
			【指導者】	・竹とんぼセット (購入)			
役割分担	青少年交流の家職員が行うこと		団体の引率者が行うこと				
	1 道具の準備をし、引率者(担当者)への説明を行う (活動開始30分前までに) ① 貸出物品について ② 活動の進め方について ③ 安全管理について ④ 活動後の片づけについて 4 貸出物品を受け取る		1 交流の家職員から説明を受け、貸出物品を受け取る (活動開始30分前までに) 2 売店で材料を購入する 3 準備から片付けまでの指導を行う 4 貸出物品を返却する				

3 活動のふりかえりのポイント

視 点:「楽しんで、仲間と協力して活動することができたか。」

発問例:「出来上がった作品について、頑張ったこと、工夫したことなどを班で発表しましょう。班のメンバーは、友達の作品や、作業中の様子などの、自分が気づいた『ナイスポイント!』を伝えましょう。」

4 SDGsで目指す姿

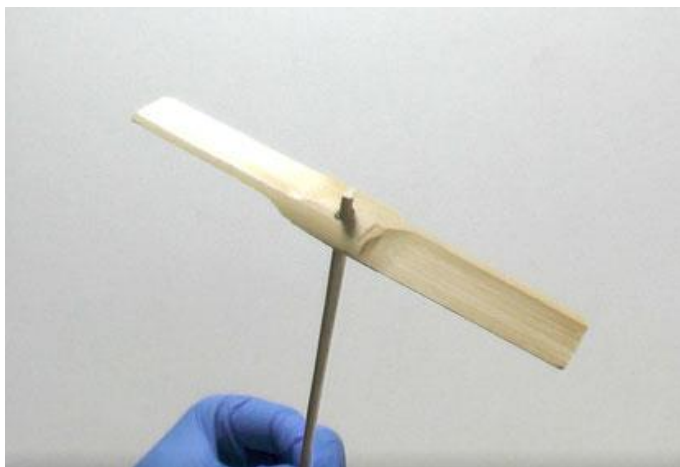
 <p>4 質の高い教育をみんなに</p>	 <p>12 つくる責任 つかう責任</p>	<p>12.8 2030年までに、人々があらゆる場所において、持続可能な開発及び自然と調和したライフスタイルに関する情報と意識を持つようにする。</p> <p>自分で作った作品に愛着を持ち、大切に長く使うようになることをとおして、身の回りにあるものも同じように大切に使う姿。</p>
---	---	---

道具・用具



• カッター • 新聞紙

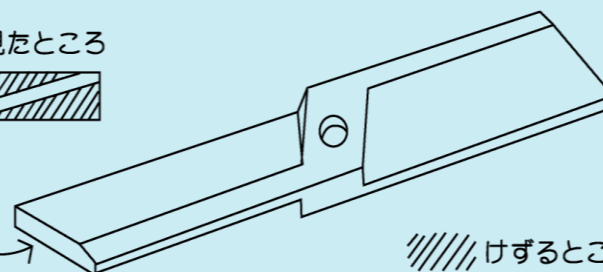
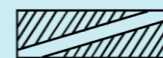
作品例



① プロペラをつくる。

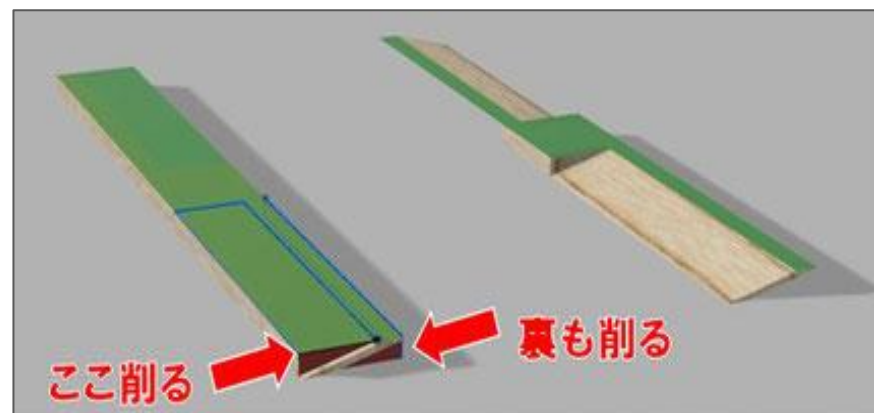
①羽のかたむきが逆になるようにけずる。

よこから見たところ



////// けずるところ

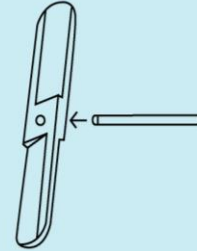
※羽はうすいほうが軽いのでよくとびます。
※危険なので、角は丸くけずっておきましょう。





②軸をつける。

②丸ぼうを接着して色をぬればできあがり。



広いばしよで
飛ばしましょう。

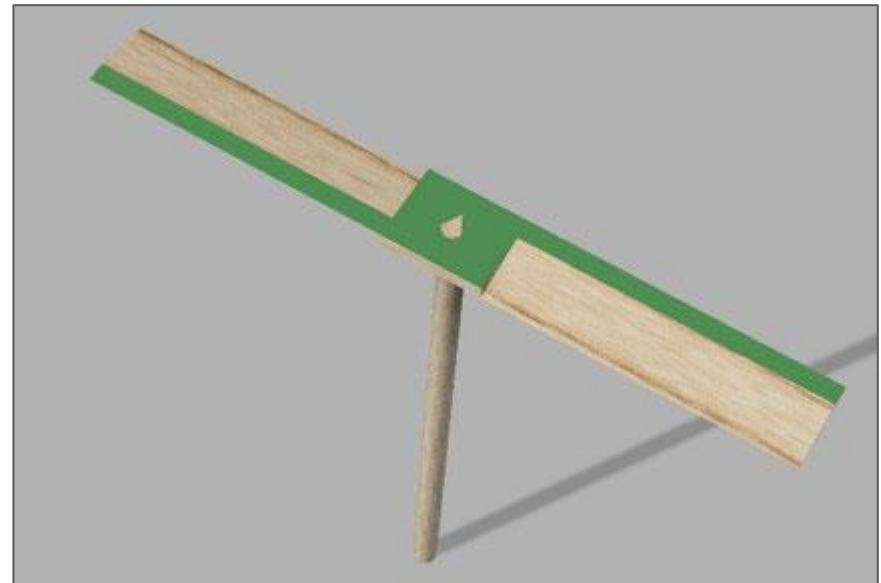
注意

両手でけずる

親指で押しだすように
けずる。



ナイフを使うときは、取り扱いには十分注意し、安全な活動になるようにしましょう。



③ バランスのたしかめかた



つくえ 机などに竹とんぼを置いて、手で回転させて
きれいに回転するかを調べてみる。

④ 竹とんぼの飛ばし方



りょうて
両手でもって



き
利き手をひいて



まえ
前におしだす

⑤ かたづけ・そうじ

※ 「来たときよりも美しく。」

